

留学だより⑬



ナマステー！AFS でインドのパンジャブ州に留学していた井之前です。

留学後ものんびり留学だよりを書いていたら帰国から 3 か月も経ってしまいました。急ぎます！今回は

1. ラウンドスクエア
2. 日本文化授業
3. ボランティア
4. 全校集会でスピーチ

の 4 本立てです！最後まで読んでもらえると嬉しいです。

1. ラウンドスクエア

私は 4/23-4/26 にかけて首都デリーの近くのノイダという都市で開かれたラウンドスクエアというイベントに参加しました。ラウンドスクエアとはひとつのテーマについてみんなで向き合い、議論を行ったりするカンファレンスのようなものです。今回のテーマは「自然環境」でした。

開催されるノイダまではなんと電車で向かいます。インドの電車というと屋根に大量の人が乗っかって大遅延しながら来るというイメージがありましたが、流石にそこまでではなくちょっと人がはみ出している程度でした。私たちは席を予約していたので、はみ出すことはありませんでしたが、指定席なのに人が座っていて、さすがインドという感じです。日本の新幹線と比べるとノロノロと進みますが、友達と一緒に UNO で遊んだり、お喋りをしたりしてようやくデリーの駅に到着しました。もわもわとした湿気た空気に大量の人、頭に重そうな麻袋を担いでいたり、よく分からない言葉を叫んでいる人がいたりして驚きの連続です。

駅からはバスで目的地まで到着するとついにラウンドスクエアが始まります。インド中から集まった高校生たちに圧倒されました。なんだかほかの学校の人ってだけで頭よさそうに見えたり、強そうに見えたりしませんか？主催校の歓迎パフォーマンスは素晴らしく、1 日目はあっという間に終わりました。



2 日目は「自然環境」に関するテーマを議論する日で、環境破壊に関する課題を実体験するプログラムの後、討論したり、各学校で行っている自然保護活動に関するプレゼンテーションを行いました。議論の後は Culture Festival です。このフェスティバルは自分たちの地域の伝統的なダンスだったり劇をパフォーマンスしたりするものです。私たちはパンジャブ州の伝統的なダンスのバングラを踊りました。実はこのラウンドスクエアのために 1 か月間、毎日練習をしていました。大勢の参加者の前で踊るのはとても緊張しましたがパフォーマンスの後、日本人の留学生が伝統的なダンスを踊っていたということで他校の生徒が声をかけてくれ仲良くなるきっかけにもなりました。黄色の衣装は、最後に友達がお別れのギフトとして私にプレゼントしてくれました。



留学の最後の宿泊行事で、自然環境について考える機会を得ただけでなく、友達と寝食を共にして語り合うことができた時間は忘れられない思い出になりました。



2. 日本文化授業

私は AFS という留学エージェントの他にもトビタテ！留学 JAPAN という文部科学省の奨学金プログラムにも参加しています。その活動の一環として、日本の文化を派遣国で伝えるという活動があります。

その活動として私は学校で日本の文化に関する授業を行いました。私の学校には幼稚園から高校生までの生徒がいるので、その中でも小学校高学年の子どもたちに 2 時間かけて授業を行いました。

最初にインドでも有名な日本のお菓子や日本の学校に関する問題に関するスライドをクイズ形式で10分ほど紹介しました。盛り上がらなかったらどうしようと最初はとても不安に思っていたのですが、子どもたちがすごいノリノリで隣のクラスまで聞こえるほど大きな声で答えを叫んでいて予想以上のノリの良さを見せてくれました。

その後はちょっとした日本語のフレーズを紹介し、折り紙のレクチャーをしました。最初はカエルを作ろうと思っていましたが、レベルを少しあげて手裏剣にしたところ思ったよりも難しく教えるのがとても大変でした。もし、折り紙を教える機会があったら手裏剣以外をオススメします。

でも、インドではNARUTOと忍者ハットリくんのアニメが人気なので、特に男子は手裏剣に熱狂的に惹かれてくれて楽しかったです。また、可愛い柄付きの折り紙を用意するとなかなか海外には可愛い折り紙がないのでウケがいいと思います。

そんな感じで、不安とは裏腹にとっても盛り上がってくれていい日本文化授業になりました。



3. ボランティア

私の学校では1週間ボランティア活動週間というのがあります。私は日本文化授業と同様にボランティア活動もしなければいけないので、学校のボランティア活動に参加しました。

1週間かけていらなくなった教科書、本、服、日用品などを回収して孤児院や老人ホーム、ホームレスの人々のために寄付しに行きます。

週末には炊き出しを行ったり、老人ホームへの訪問も行ったりします。学校中から集まった古本を何往復もして運ばなければいけないのはかなり大変でしたが学校でボランティア活動ができるというのはとてもいい経験になりました。



4. 全校集会でスピーチ

4/28 に全校集会で私の留学生活についてのスピーチを行いました。4/30 が最後の登校日だったので最後の機会です。

実は私が留学して最初の登校日にも全校集会でスピーチを行っていました。その時はスピーチすることを知らされていなかったなので、本当に何を言っているのか分からず、カタコトのナマステと名前と出身くらいしか言えなかったのですが、今回は私のために 20 分も用意してくれたとの事で緊張が隠しきれません。

そしてバンジャブ語、そしてヒンディー語も混ぜてスピーチを行わなければならず、難易度もぐんと上がります。

さすがに全校生徒 2000 人の前で発表するのは緊張しましたが、留学の成果を見せる最後のチャンスなので精一杯頑張りました。

そしてなぜか 1 番仲のいい友達が私の成長に感激して泣いていました。まるで保護者のようです。発表が終わると校長先生から学校からのプレゼントということで学校の置き時計をプレゼントしてくださいました。ホストスクールで色々な活躍の場を提供してくれただけでなく、1 人の留学生のためにこんなにも支えてくれた学校がホストスクールで幸せだと感じました。

3 年ぶりの留学生ということもあり、その日の夜には校長先生の家での夜ご飯まで招待されてしまいました。そこでは名前入りのボールペンに加えて、学校のマグカップまでプレゼントしてくださいました。あまりのおもてなしに感動です。

ただの留学生 1 人にここまで厚いおもてなしをしてくれる事にも感動ですが、校長先生が私が 10 か月間ホストスクールの生徒たちにいい刺激を与えてくれたから来年からも留学生をもっとたくさん受け入れていきたいと言ってくださり、ここまで頑張ってきて良かったなと感じました。

最後はイベントが盛りだくさんで留学だよりに入り切りそうにないのでここで 13 号は終わりにしたいと思います。



あとかき

留学だより 13 号はいかがでしたか？最後の 1 週間はイベント盛りだくさんで書ききれませんでした。素敵な友達、ホストスクール、ホストファミリーに恵まれたからこそその経験だったなと感じています。次回が最終号になります。ぜひ読んでください！

16 期 井之前